

若手研究者業績

2003年から今までの5年間、神奈川大学21世紀COEプログラムで活躍されました若手研究者（PD・RA）の方々の業績をCOE関連およびCOEに関わる研究組織関連のものを中心に紹介いたします。

なお、以下の名称については下記のように略記いたしました。

- *1 神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究成果報告書 COE成果報告書
 *2 第3回神奈川大学COE国際シンポジウム・プレシンポジウム 若手研究者ワークショップ COE若手研究者ワークショップ

網野 暁（PD）

- 論文** 《研究ノート》「非文字資料研究についての一考察」『年報 人類文化研究のための非文字資料の体系化 / 第1号』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、195-201、2004年3月
 《研究ノート》「非文字の資料と資料化」『年報 人類文化研究のための非文字資料の体系化 / 第2号』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、204-211、2004年12月
- その他** 《コラム》「韓国ソウルをたずねて...」『非文字資料研究 / No.2』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、30、2003年12月

王 京（PD）

- 著書** 『1930、40年代の日本民俗学と日本』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、2008年2月
 COE成果報告書*1 『東アジア生活絵引 / 中国江南編』（共著）神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、2008年2月
 『小川島の民俗 群馬県利根郡月夜野町下津小川島』（共著）神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科、55-63、82-91、155-170を執筆、2004年3月
- 論文** 《研究ノート》「教会大学と日中戦争 『北平私立輔仁大学檔案』（1925～1952年）から見た戦時下の学生収容」『年報 人類文化研究のための非文字資料の体系化 / 第3号』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、250-259、2006年3月
 《研究ノート》「戦時下の中国民俗研究 永尾龍造の研究と『支那民俗誌』編纂刊行の背景」『年報 人類文化研究のための非文字資料の体系化 / 第4号』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、171-192、2007年3月
 『「関東大震災・地図と写真のデータベース」の作業手順』COE成果報告書*1 『環境に刻印された人間活動および災害の痕跡解読』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、121-126、2007年12月
 『「関東大震災と航空写真」COE成果報告書*1 『環境に刻印された人間活動および災害の痕跡解読』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、147-179、2007年12月
- 発表** 『北京師範大学所蔵『北平私立輔仁大学檔案』（1925～1952年）』神奈川大学21世紀COEプログラム若手研究者海外派遣報告会、2006年3月
 『中国旅行社と『旅行雑誌』』神奈川大学21世紀COEプログラム若手研究者海外派遣報告会、2007年1月
 『「関東大震災と航空写真」神奈川大学21世紀COEプログラム第3回全体研究会、2007年9月
- その他** 《翻訳》「熊月之『日本が上海に租界をつくらうとした件の資料』」『中国における日本租界 重慶・漢口・杭州・上海』お茶の水書房、2006年4月
 《コラム》「中国・国家主導の博物館事業」『非文字資料研究 / No.6』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、22-23、2004年12月
 《コラム》「『民俗学誌』（Folklore Studies）について」『非文字資料研究 / No.11』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、30、2006年3月
 『「旅行雑誌（China Traveler）」について』『非文字資料研究 / No.18』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、18-19、2007年12月
 『「日中民俗学交流のひとつま 何思敬とThe Handbook of Folkloreの中国導入」』『非文字資料研究 / No.19』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、6-7、2008年3月



「COE若手研究者ワークショップ*2『手段としての「非文字」資料と方法のあいだ』を終えて」『非文字資料研究/No.19』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、34-35、2008年3月

大坪 潤子 (RA)

論文

《研究ノート》「銅像の建つ場についての考察」『年報 人類文化研究のための非文字資料の体系化/第2号』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、187-194、2004年12月

《研究ノート》「騎馬像の居場所」COE成果報告書*1『非文字資料研究の可能性 若手研究者研究成果論文集』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、265-272、2008年3月

その他

《調査報告》「旧南洋群島の神社跡地調査報告」『年報 人類文化研究のための非文字資料の体系化/第2号』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、239-322、2004年12月

《書評》「富澤達三『錦絵のちから 幕末の時事的錦絵とかわら版』」『歴史民俗資料学研究/第10号』神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科、105-110、2005年3月

《フィールドノート》「南洋群島に神社をたずねて」『非文字資料研究/No.6』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、20-21、2004年12月

大西 万知子 (RA)

論文

《研究ノート》「博物館におけるモノとヒトのかかわりについての一考察 広島平和記念資料館の事例から」『年報 人類文化研究のための非文字資料の体系化/第1号』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、212-220、2004年3月

《研究ノート》「広島における記憶と身体のかかわりについての一考察」『年報 人類文化研究のための非文字資料の体系化/第2号』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、195-203、2004年12月

「人類の記憶、ヒロシマ」COE成果報告書*1『非文字資料研究の可能性 若手研究者研究成果論文集』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、3-51、2008年3月

発表

「サンパウロ大学海外派遣研究・ブラジル、サンパウロにおける広島原子爆弾投下の展示について」神奈川大学21世紀COEプログラム若手研究者海外派遣報告会、2006年3月

「視覚に障害を持つ人に配慮された触れる展示の役割について」神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科研究会、2006年6月

「視覚に障害を持つ人に配慮された展示解説の役割について」神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科研究会、2007年11月

「感性を展示すること 英国と日本の事例から」COE若手研究者ワークショップ*2、2008年1月

その他

《研究レポート》「第76回神奈川大学日本常民文化研究所研究会『常民文化研究の資料と方法 人類学の立場から』川田順造先生の講義レポート」『常民研news/21号』神奈川大学日本常民文化研究所、2003年9月

《コラム》「アジア・ヨーロッパ・ラテンアメリカの情報発信(展示)の発達比較 日本から一番遠い国、ブラジルでは」『非文字資料研究/No.13』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、17、2006年9月

「国際シンポジウム参加報告・第2回国際シンポジウムを終えて」『非文字資料研究/No.14』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、13、2006年12月

「威厳と挑戦 大英博物館の非文字資料から広がる風景」『非文字資料研究/No.4』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、20-21、2004年6月

小野地 健 (PD)

論文

「八百比丘尼伝承の死生観」『人文研究/155号』神奈川大学人文学会、51-72、2005年3月

「『日招き伝承』考」『人文研究/158号』神奈川大学人文学会、99-125、2006年3月

「虹と市 境界と交換のシンボリズム」『人文研究/160号』神奈川大学人文学会、29-76、2007年3月

「クシャミと人類文化 身体音からの人類文化研究の体系化のための試論」COE成果報告書*1『非文字資料研究の可能性 若手研究者研究成果論文集』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、89-107、2008年3月

発表

「クシャミと人類文化」神奈川大学21世紀COEプログラム第4回全体研究会、2007年11月

その他

《コラム》『虹』と『市』』非文字資料研究/No.16』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、26、2007年6月

榎村 賢二 (PD)

著書

神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料3『図像研究文献目録』採録・編集を担当、神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、2005年9月

論文

《研究ノート》「ユニバーシティ・ミュージアムと学芸員養成課程」『年報 人類文化研究のための非文字資料の体系化/第4号』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、125-170、2007年3月

「オートバイ宅配便(クイックサービス)にみる韓国社会」COE成果報告書*1『非文字資料研究の可能性 若手研究者研究成果論文集』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、109-120、2008年3月

発表

「調査写真の資料化 韓国のオートバイ宅配便調査を事例に」COE若手研究者ワークショップ*2、2008年1月

その他

《コラム》「周期祭の背景」『非文字資料研究/No.6』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、24、2004年12月

《フィールドノート》「韓国を少し知るヒント 自転車とオートバイ」『非文字資料研究/No.11』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、16-17、2006年3月

《コラム》「鳥取県において民具調査を始めて」『非文字資料研究/No.17』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、22、2007年9月

「鳥取県における民具調査の取り組み」『民具マンスリー/40-5』神奈川大学日本常民文化研究所、2007年8月

國弘 暁子 (PD)

論文

『異装』が意味するもの インド、グジャラート州におけるヒジュラの衣装と模倣に関する考察」COE成果報告書*1『非文字資料研究の可能性 若手研究者研究成果論文集』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、153-164、2008年3月

発表

「人類文化における性とジェンダーの捉え方にみる普遍性と特殊性 インド、ブラジル、日本の三角測量に向けての試論」比較民俗研究会、神奈川大学、2007年1月

「人類文化における『トランス・ジェンダー』の捉えかたと習俗の普遍性と特殊性 ブラジルのトラベスチに関する人類学的調査研究」神奈川大学21世紀COEプログラム若手研究者海外派遣報告会、2007年1月

「プリティッシュ・コロンビアにおける先住民と『ベルダージュ』に関する調査報告」神奈川大学21世紀COEプログラム第4回全体研究会、2007年11月

その他

《コラム》「インドにおけるフィールドワークの実践」『非文字資料研究/No.13』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、30、2006年9月

《フィールドノート》「性とジェンダーをどうとらえるか 人類文化における普遍性と特殊性の一事例研究」『非文字資料研究/No.15』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、19-21、2007年3月

「ベルダージュ」異性装から「異装」研究へ『非文字資料研究/No.19』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、5、2008年3月

小林 光一郎 (RA)

論文

『踊る猫の話』伝承の背景 林恵太郎家の伝承をもとに』『小川島の民俗』神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究所、126-146、2004年



「二つの湖にまつわる土地観念 猪名湖と長湖にまつわる伝承の背景にある歴史」『松原の民俗』神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科、221-238、2006年3月

《研究ノート》『踊り歌う猫の話』に歌が組み込まれた背景 『猫じゃ猫じゃ』の歌を事例に」COE成果報告書*1 『非文字資料研究の可能性 若手研究者研究成果論文集』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、233-249、2008年3月

佐々木 弘美 (RA)

論文 『朝鮮軍陣図屏風』を読み解く』『歴史民俗資料学研究 / 第12号』神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科、185-214、2007年3月

「熊野と律僧と市女笠 一遍聖絵を読む」COE成果報告書*1 『非文字資料研究の可能性 若手研究者研究成果論文集』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、73-88、2008年3月

発表 「絵画の構図をよむ 一遍聖絵の場合」COE若手研究者ワークショップ*2、2008年1月

土田 拓 (RA)

論文 《フィールドノート》「離農家を継ぐ 北海道紋別市のカヨイサクとカヨイサク地への定住」『歴史民俗資料学研究 / 第10号』神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科、69-92、2005年3月

《研究ノート》「住みつづける意志 紋別市内陸部における畜舎景観の成りたち」『年報 人類文化研究のための非文字資料の体系化 / 第3号』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、271-284、2006年3月

《研究ノート》「アルバムのなかの戦後開拓」COE成果報告書*1 『非文字資料研究の可能性 若手研究者研究成果論文集』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、251-264、2008年3月

発表 「調査写真の性格と用法 景観の中のコンクリートブロック」COE若手研究者ワークショップ*2、2008年1月

その他 《コラム》『開拓定住』を問う場としての北海道』『非文字資料研究 / No.10』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、17、2005年12月

「北海道の水稲直播き 雨竜郡幌加内町のタコアシをめぐる」『民具マンスリー / 第37巻9号』神奈川大学日本常民文化研究所、1-8、2004年12月

富澤 達三 (PD)

論文 《研究ノート》『黒船かわら版』の情報』『年報 人類文化研究のための非文字資料の体系化 / 第2号』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、143-152、2004年12月

《研究ノート》「非文字資料のデジタル化と歴史研究 近世画像資料を例として」COE成果報告書*1 『非文字資料研究の可能性 若手研究者研究成果論文集』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、219-232、2008年3月

発表 「画像資料のデジタル化と歴史研究への活用」神奈川大学21世紀COEプログラム第2回全体研究会、2004年9月

その他 《コラム》「東京都写真美術館を訪れて...」『非文字資料研究 / No.2』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、30、2003年12月

《コラム》自著を語る「錦絵のちから 幕末の時事的錦絵とかかわら版」『非文字資料研究 / No.5』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、26、2004年9月

「博物館・美術館・大学図書館・暴力のあと」『非文字資料研究 / No.7』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、22-23、2005年3月

《研究エッセイ》「文久2年の『はしか絵』」『非文字資料研究 / No.17』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、20-21、2007年9月

中町 泰子 (RA)

論文 《研究ノート》「図像から考えるモノと技術 伏見の煎餅職人の道具と技術から」『年報 人類文化研究のための非文字資料の体系化 / 第1号』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、221-228、2004年3月

《研究ノート》「諸職風俗図像と『新撰百工図』」『年報 人類文化研究のための非文字資料の体系化 / 第2号』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、153-170、2004年12月

その他

《コラム》「煎餅のつやと道具のつや」『非文字資料研究 / No.3』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、26、2004年3月

《翻刻》「意地喜多那誌」『歴史民俗資料学研究 / 第12号』神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科、1-35、2007年3月

藤永 豪 (PD)

論文

《研究ノート》「写真資料をもとにした景観分析に関する若干の試論 佐賀平野における村落景観を事例に」『年報 人類文化研究のための非文字資料の体系化 / 第1号』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、202-211、2004年3月

《研究ノート》「中山間地域における住民の環境利用と生活空間の変化 写真にみる景観の変遷をとおして」『年報 人類文化研究のための非文字資料の体系化 / 第2号』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、171-186、2004年12月

《研究ノート》「北京市都心部および郊外農山村の景観変容」『年報 人類文化研究のための非文字資料の体系化 / 第3号』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、238-249、2006年3月

「景観資料としての写真をめぐって」COE成果報告書*1 『「景観」と「環境」についての覚書』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、43-53、2007年12月

発表

「景観分析における資料としての写真の可能性」神奈川大学COE第2回国際シンポジウム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」『図像・民具・景観 非文字資料から人類文化を読み解く』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、2006年10月

その他

神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料2 『図像文献書誌情報目録』(共編) 神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、2005年3月

《コラム》「佐賀平野の干拓集落の景観を観察して」『非文字資料研究 / No.3』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、25、2004年3月

《コラム》「北京 改革開放が生み出す景観」『非文字資料研究 / No.7』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、24、2005年3月

《フィールドノート》「むらの風景が語るもの 世界遺産白川郷を訪ねて」『非文字資料研究 / No.11』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、18-19、2006年3月

『「澁澤写真」の現場を歩いて』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料4 『手段としての写真 「澁澤写真」の追跡調査を中心に』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、42-49、2007年3月

「景観分析における資料としての写真の可能性」神奈川大学21世紀COEプログラム シンポジウム報告4 第2回国際シンポジウム『図像・民具・景観 非文字資料から人類文化を読み解く』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、114-119、2007年3月

「大学生の環境認識 自然地理学の講義現場から」『非文字資料研究 / No.18』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、14-15、2005年3月

ルシーニュ・フレデリック (RA)

論文

《研究ノート》「フランスにおける柳田国男の紹介と評価」『歴史民俗資料学研究 / 第11号』神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科、243-249、2004年3月

「フランス博物館の情報戦略」『非文字資料研究 / No.3』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、22-23、2004年3月

その他

《コラム》「野外民族博物館リトルワールドにおける『民族』概念についての初歩的レポート」『非文字資料研究 / No.15』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、24-25、2007年3月



彭 偉文 (RA)

- 著書** 《訳書》COE成果報告書*1『マルチ言語版「絵巻物による日本常民生活絵引」/第2巻(語彙編)』(共著) 神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、2007年6月
COE成果報告書*1『東アジア生活絵引/中国江南編』(共著) 神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、2008年2月
《訳書》COE成果報告書*1『マルチ言語版「絵巻物による日本常民生活絵引」/第1巻(語彙編)』(共著) 神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、2008年2月
- 論文** 《研究ノート》『『姑蘇繁華図』に見る清代前期の江南地域における紡織業及びその流通 地方文献に照らして』『年報 人類文化研究のための非文字資料の体系化/第3号』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、260-270、2006年3月
『『姑蘇繁華図』における女性の世界』COE成果報告書*1『非文字資料研究の可能性 若手研究者研究成果論文集』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、53-72、2008年3月
- 発表** 「記録手段としての絵画 『姑蘇繁華図』に描かれた女性を例として」COE若手研究者ワークショップ*2、2008年1月
- その他** 《コラム》「獅子で付き合う、獅子で競う 広東の醒獅」『非文字資料研究/No.6』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、25、2004年12月
《フィールドノート》「変化しつつある文化遺産 広東醒獅の現状について」『非文字資料研究/No.15』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、22-23、2007年3月

本田 佳奈 (PD)

- 論文** 《研究ノート》「西米良村の山で働く人々と狩りの記録」COE成果報告書*1『非文字資料研究の可能性 若手研究者研究成果論文集』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、167-218、2008年3月
- その他** 《コラム》「手のひらが受け継ぐもの」『非文字資料研究/No.12』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、26、2006年6月
《調査報告》「日系カナダ人の持つ地名の記憶 パンクーパーにおける初歩的調査レポート」『年報 人類文化研究のための非文字資料の体系化/第4号』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、291-294、2007年3月

丸山 泰明 (PD)

- 論文** 「文化政策としての民俗博物館 国民国家日本の形成と『国立民俗博物館』構想」『年報 人類文化研究のための非文字資料の体系化/第3号』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、53-77、2006年3月
「文化遺産化する『景観』 観光旅行、博覧会、博物館の19-20世紀」COE成果報告書*1『非文字資料研究の可能性 若手研究者研究成果論文集』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、121-135、2008年3月
- 発表** 「21世紀における博物館の可能性 北欧で考えた二、三のこと」COE若手研究者ワークショップ*2、2008年1月
- その他** 《コラム》「同時代を見る眼と博物館」『非文字資料研究/No.9』、26、2005年9月
「デンマークの野外博物館」『非文字資料研究/No.12』、22-23、2006年6月

宮本 大輔 (RA)

- 論文** 「中国における危機言語問題 言語転用が招く言語の死」『言語と文化論集/第11号』神奈川大学大学院外国語学研究科、113-131、2004年12月
「言語危機からみる中国の共通語政策」『人文研究/No.156』神奈川大学人文学会、137-161、2005年9月

「雲南省都市部における民族語使用状況 少数民族出身大学生の予備調査に基づいて」『言語と文化論集 / 第12号』神奈川大学大学院外国語学研究科、149-166、2005年12月

《研究ノート》「中国における言語評価 浙江省の大学生を例にして」『年報 人類文化研究のための非文字資料の体系化 / 第4号』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、193-202、2007年3月

「日本人学生の言語評価 神奈川大学で行った予備調査に基づいて」『言語と文化論集 / 第14号』神奈川大学大学院外国語学研究科、51-74、2008年2月

「北京における言語評価」COE成果報告書*1『非文字資料研究の可能性 若手研究者研究成果論文集』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、137-151、2008年3月

発表 「非文字と言語 北京大学生の言語イメージを通して」COE若手研究者ワークショップ*2、2008年1月

その他 《コラム》「Ethnologueから見る言語危機の拡大」『非文字資料研究 / No.9』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、27、2005年9月

劉 湯氷 (RA)

論文 「中国語色彩語の象徴化」『人文研究 / 156号』神奈川大学人文学会、145-169、2005年9月

「『詩経』から見た色彩語」『言語と文化論集 / 第12号』神奈川大学大学院外国語学研究科、121-147、2005年12月

その他 《コラム》「色彩認識の象徴化 京劇の臉譜の表すもの」『非文字資料研究 / No.14』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、19、2006年12月

ホームページの更新について

<http://www.himoji.jp/>

2008年3月31日の本プログラムの終了に伴い、これまでのホームページを全面的に更新いたしました。更新後のホームページは2008年4月1日以降、本事業を継承する非文字資料研究センターの管理に移行します。

リニューアルしたホームページでは、この5年間の事業の経過および成果を明らかにして、わたくしどもが作り上げてきた成果についてのご意見をいただく窓口とするとともに、この成果をさらに発展させるべき方向などについても示唆を得たいと考えております。主に以下のような内容に力点を置いてリニューアルしました。

なお、ホームページのURLには変更はありません。

1. 神奈川大学21世紀COEプログラムの終了に伴い、2008年4月1日以降、日本常民文化研究所付置非文字資料研究センターが事業を継承すること。
2. 本プログラムにおいて掲げてきた「図像資料の体系化と情報発信」、「身体技法および感性の資料化と体系化」、「環境と景観の資料化と体系化」、「地域統合情報発信」、「実験展示」、「理論総括研究」の研究課題それぞれの活動経過と成果の概要をまとめ、課題をどこまでクリアできたのかを明確にしたこと。
3. 本プログラムに関わった方々の研究成果を一覧化して、どのような研究領域の人々がともに作り上げてきた事業なのかを明らかにし、またプログラムの5年間に参画者が挙げた成果を示したこと。
4. 本プログラムにおいて収集した研究資料のデータベース、あるいは今後データの持続的な蓄積・更新が必要なデータベースをとともに公開し、広く社会的利用に供したこと。
5. 本プログラムの研究拠点として重要課題である若手研究者の育成をどのように行ってきたか、またその成果についての紹介を行ったこと。
6. 「人類文化研究のための非文字資料の体系化」の課題を遂行する上で研究連携を深めた海外の研究機関との交流の実態を紹介したこと。

拡大ホームページ委員会